



## 月間にじのはし73号 (令和5年7月号)



7月に入り、夏休みももう目の前となりました。職員は夏休みのイベントやおでかけ準備に慌ただしい日々を送りハトハトになりそうです

が、子どもたちの「夏休み楽しみ！」というキラキラした表情を見ると、やる気がグンと上がり頑張ろうと思えます。子どもたちの会話には、夏休みの旅行先の話やプールやお祭りの話など夏ならではの話題がたくさん出ており、話を聞く職員も「楽しみだねー」と声をかけながら、子どもたちの嬉しそうな様子につられて笑顔になっています。夏休みへのワクワクをバネに、あと少し学校や日常生活を頑張ってもらえたらと思います。

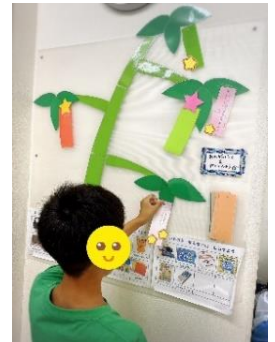


さて、今号では6月の活動の様子を中心に振り返ります。どうぞお楽しみ下さい。

### 七夕かざり



れいんぼーの壁面には毎月季節に沿ったものを飾っており、今月は七夕をモチーフにした壁面飾りを飾っています。笹の壁面の近くには子どもたちが自由にお願い事を書けるよう、短冊を用意しました。それに興味を持ってくれた子は多く、みんなのお願い事が笹を鮮やかに飾ってくれました。みんなそれぞれ願い事は個性的です。高学年の子たちは家族や友達、ペットのことなど自分ではない周りの幸せを願うおねがいごとが多く、職員もとても感心しました。四季折々の景色がある日本ですので、季節の行事を楽しんでもらえることは大切なことだと思います。これからも積極的に季節感をとり入れた活動を考えていきます。



### 6月のお誕生日会



6月28日(水)に主役の子1名をお祝いするお誕生日会を開催しました。みんなで「お誕生日おめでとう」の声をかけ、プレゼントを渡すと、主役の子は少し照れた様子を見せながらも嬉しそうな笑顔を見せてくれました。今回もリクエスト形式で聞き取った自分の好きなおやつをいただきました。仲良しのお友達との特別なおやつでのパーティーはテンションがあがり、おふざけがいつもより少し多めで、ボケたり突っ込んだりと笑い声が飛び交っていました。おやつあとのゲームは新聞紙ダーツをしました。

的をよく狙い、新聞で作ったダーツを投げ入れる遊びで、綺麗に的の穴に入ると「よっしゃ！」と喜びの声が上がりました。みんなきちんと列に並んで順番交代をしながら仲良く遊ぶことができました。





### 6月の活動プログラムより

6月の工作プログラムは、不思議なボトルを作りました。色水とオイルを一緒にいれることで分離して色が混ざらず、二層になる仕組みです。好きな色やラメを選び、こぼさないよう小さな瓶に入れ、綺麗な作品が完成しました。試しに作品を振って色が混ざらないのを確認すると、「すごー！」と驚きの声で喜んでくれました。

料理プログラムでは、アメリカンドッグを作りました。ウインナーやチーズを爪楊枝に刺し、それを生地につけ、油に入れて揚げるだけで熱々のアメリカンドッグが完成しました。みんな熱い油に気を付け、そっと入れたりと安全に料理を楽しむことができました。

英語プログラムでは、「take A to B(つれていって)」という題名で、指定された物を所定の場所に連れていくという遊びをしました。回数をこなすうちに構文の感覚をつかめ、最後はみんなで先生を所定の場所に連れていくという課題をクリアできました。

音楽プログラムは、チェツェツェコリというガーナ民謡に合わせてみんなでダンスをしました。だんだんと曲のスピードがあがり、最後の方は慌てて踊ることになり、その姿にみんな笑いを堪えられず大笑いで楽しみました。楽しく民謡を学ぶことができました。

ドラムレッスンでは、「バックビート」というリズムを学びました。ドラムを叩く動作と手拍子を織り交ぜることでリズムを分かりやすく正確に学ぶことができました。レベル別に難易度を合わせ、器用な子は楽々とリズムを覚えることができていました。

運動プログラム・ゲーム大会では、ぺったんダーツやピンポンカップイン、もじゃボールトスやもぐらたたきなどの的を狙う遊びや、足上げキャッチボールやフラフープ送りなど協力してリレーする遊びに加え、うちわ風船リレーやクッションオンザヘッドなど落とさないようバランス感覚を養う遊びなど、今月も様々な楽しみました。忍者競走という遊びもして、床にシートを敷いてその中にお菓子などのパックを忍ばせ、音を鳴らさず忍者のように歩けるかという遊びで、音が鳴ってしまったときにはみんなで「しーっ」と口に指を立て、面白い雰囲気でも遊びました。

